

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 26 年 6 月 19 日 (2014.6.19)

【公開番号】特開 2012-23027 (P2012-23027A)

【公開日】平成 24 年 2 月 2 日 (2012.2.2)

【年通号数】公開・登録公報 2012-005

【出願番号】特願 2011-127827 (P2011-127827)

【国際特許分類】

H 0 1 M 10/056 (2010.01)

H 0 1 M 10/058 (2010.01)

H 0 1 M 10/052 (2010.01)

H 0 1 M 4/139 (2010.01)

H 0 1 M 4/1395 (2010.01)

H 0 1 M 4/134 (2010.01)

H 0 1 M 4/38 (2006.01)

【F I】

H 0 1 M 10/00 1 0 5

H 0 1 M 10/00 1 1 5

H 0 1 M 10/00 1 0 2

H 0 1 M 4/02 1 0 8

H 0 1 M 4/02 1 1 2

H 0 1 M 4/02 1 0 5

H 0 1 M 4/38 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 4 月 29 日 (2014.4.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

集電体上に活物質層としてシリコン層を形成し、

前記シリコン層上の自然酸化膜を除去後、前記シリコン層上に前記シリコン層を覆うように固体電解質層を形成し、

前記固体電解質層に接するように液体の電解質を設けることを特徴とする蓄電装置の作製方法。

【請求項 2】

請求項 1 において、

前記固体電解質層は、リン酸リチウム、リン酸鉄リチウム、リン酸マンガンリチウム、リン酸クロムリチウム、及び硫化リンリチウムの一以上を含む層であることを特徴とする蓄電装置の作製方法。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 において、

前記シリコン層は、結晶性の領域及びウィスカー状の領域の一以上を含む層であることを特徴とする蓄電装置の作製方法。

【請求項 4】

集電体と、前記集電体上の活物質層と、前記活物質層上の固体電解質層と、を有する電

極と、

液体の電解質と、を有し、

前記活物質層は、シリコン層であり、

前記固体電解質層は、前記シリコン層を覆い、

前記電極は、前記固体電解質層において前記液体の電解質と接することを特徴とする蓄電装置。

【請求項 5】

請求項 4 において、

前記固体電解質層は、リン酸リチウム、リン酸鉄リチウム、リン酸マンガンリチウム、リン酸クロムリチウム、及び硫化リンリチウムの一以上を含む層であることを特徴とする蓄電装置。

【請求項 6】

請求項 4 または請求項 5 において、

前記シリコン層は、結晶性の領域及びウィスカー状の領域の一以上を含む層であることを特徴とする蓄電装置。